

2025年4月

お客さま各位

## 外国送金のISO20022移行について

平素より大分銀行をご愛顧賜り、誠にありがとうございます。

外国送金の代表的な決済ネットワークである Swift（国際銀行間通信協会）では、外国送金に使用する電文について、2023年3月20日から国際標準規格であるISO20022の利用を開始しており、各金融機関は2025年11月までに完全移行が求められています。

### ■ISO20022とは

ISO20022とは、国際標準化機構（ISO）が定める「金融通信メッセージの世界共通の規格」のことであり、世界各国の金融機関で現在使用されている外国送金の電文フォーマット（MT電文）に代わって採用されています。

新しい電文フォーマットはMX電文と呼ばれ、現行のMT電文と比較してより多くの送金情報を送金電文上に含めることができ、送金依頼人・受取人取引銀行・送金受取人の住所情報は、現在より構造化・細分化される予定です。

また、外国送金のフォーマットが世界各国の金融機関で新フォーマットに統一されることで、送金取引の迅速化やアンチマネーロンダリング規制強化への効果が期待されています。

### ■大分銀行のISO対応ならびにお客さまへの影響について

大分銀行では2025年9月1日より、外国仕向送金のフォーマットを新フォーマットへ移行する予定です。移行後はISO20022に準拠した新フォーマット※にて外国送金を行う必要があります。また、窓口でお申しいただく際の外国送金依頼書の書式についても変更となる予定です。

お客さまには、2025年9月1日以降、外国送金をご利用いただく際に、新フォーマットに準拠した形式で外国送金データをご入力等いただく必要があります。

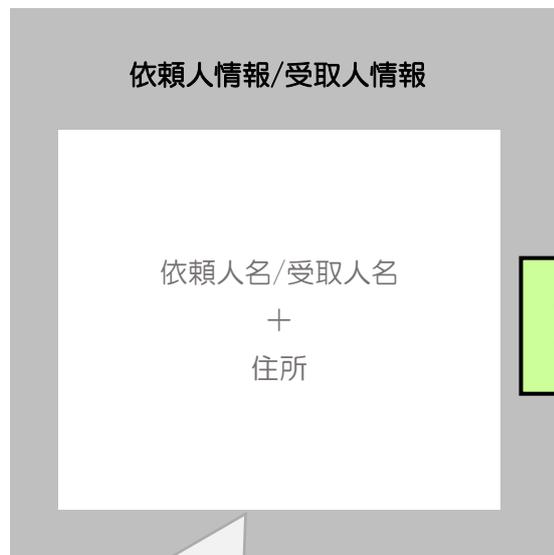
具体的な変更点については、今後の移行準備が整い次第、当行ホームページ等を通じご案内いたします。

※送金依頼人・受取人取引銀行・送金受取人の住所構造化・細分化等

## ■ISO20022 移行後のフォーマットについて

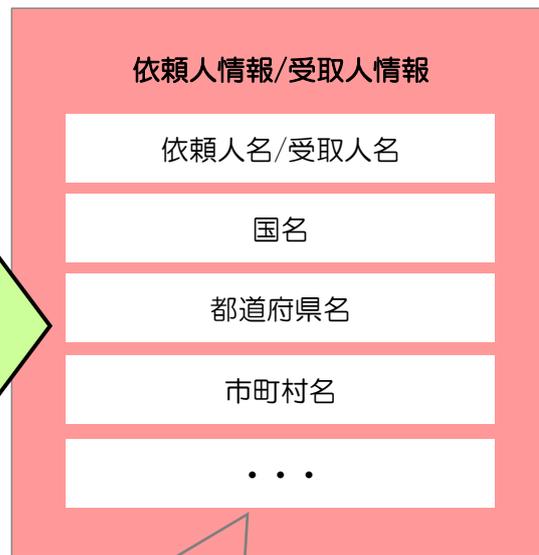
(イメージ図)

<現行フォーマット (MT 電文)>



一つの項目に、送金受取人名・住所・国名等が入力されているため、機械による区別が困難です。

<新フォーマット (MX 電文)>



各情報が構造化されており、機械で読み取りやすくなります。



	現フォーマット (MT 電文)
依頼人情報 受取人情報	名前と住所を一つの項目に入力
送金情報 (受取人への 伝達事項等)	140 文字が上限



	新フォーマット (MX 電文)
依頼人情報 受取人情報	名前、国、県(省・州)、市町村、ビル名等を別々の項目に入力
送金情報 (受取人への 伝達事項等)	最大 9,000 文字 請求書情報、契約書情報、 インボイス情報等の入力が可能

## ■今後のスケジュール



以 上